

## 「俺が、つくる！ 世界一の職人岡野雅行」

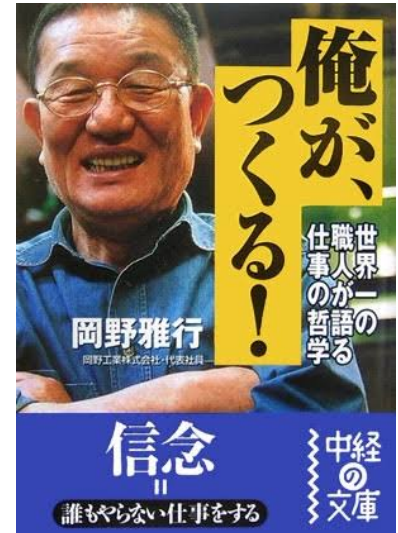
著 者：岡野 雅行

出版社：中経出版

発 行：2003 年 02 月

価 格：1,470 円（税込）

ISBN : 978-4-8061-1760-5



従業員六名の小さな町工場を頼って、名だたる大企業から注文が舞い込んでくる。岡野さん以外に誰もできない仕事だから、大企業はただただ頭を下げるしかないのだ。「不可能を可能にする男」が語る開発哲学、経営哲学のすべて。

### 目次

- 「できない」と言われると、俄然、成功してみせると燃えてくる。
- 失敗を何度も繰り返す。だから誰もできない仕事ができる。
- 技術は見て盗むもの。教えてもらうものじゃない。
- 勉強は大嫌いだった。その代わりに、誰よりも遊んだよ。
- 技術や商売の仕方は遊びのなかから身に付けるもの。図面を引かないから発想は無限に広がっていく。
- 金型屋がプレスやるんだから、プレス屋も金型をやればいいじゃねえか。
- 夕方五時から朝の八時まででいいから、工場を貸してくれ。
- 「安くてみんなが敬遠する仕事」と、「難しくて誰にもできない仕事」しかやらない。
- 同業者の仕事を盗ったことはない。盗られるばかりだ。[ほか]

社員僅か6名の町工場——中小企業の星

### 俺がつくる！ 《世界一の職人》

「誰にもできない仕事はオレがやる！」と携帯電話リチウム電池ケース、痛くない注射針…等、世界的企業ができなかった製品を続々開発。不可能を可能にする“破天荒な男”の開発哲学

岡野工業 社長

岡野雅行

